

留学から帰った後の  
お母さんの料理が……

「おいしい」から  
始まる会話が  
あれば……

私は  
蒸したヤムイモが  
一番好きです……

農家 (東アフリカ・ウガンダ)

レストラン (千葉)

このメッセージカードは、こちらのページから印刷してお使いいただけます。  
学校授業やイベントなどでもご活用ください。

<https://www.hungerfree.net/download/message.html>

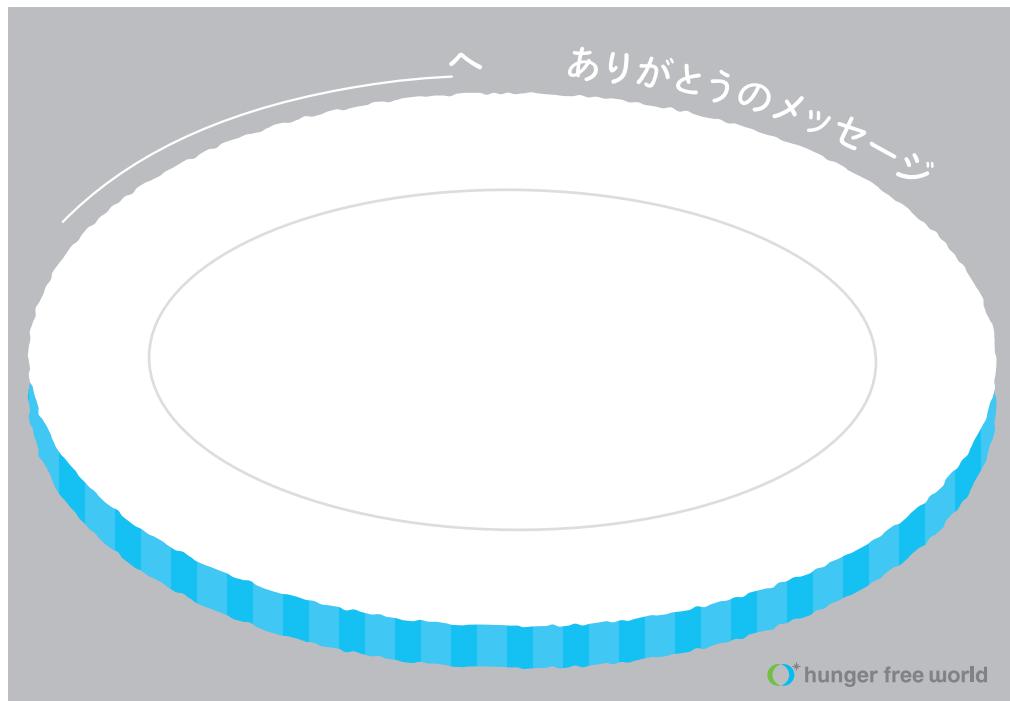
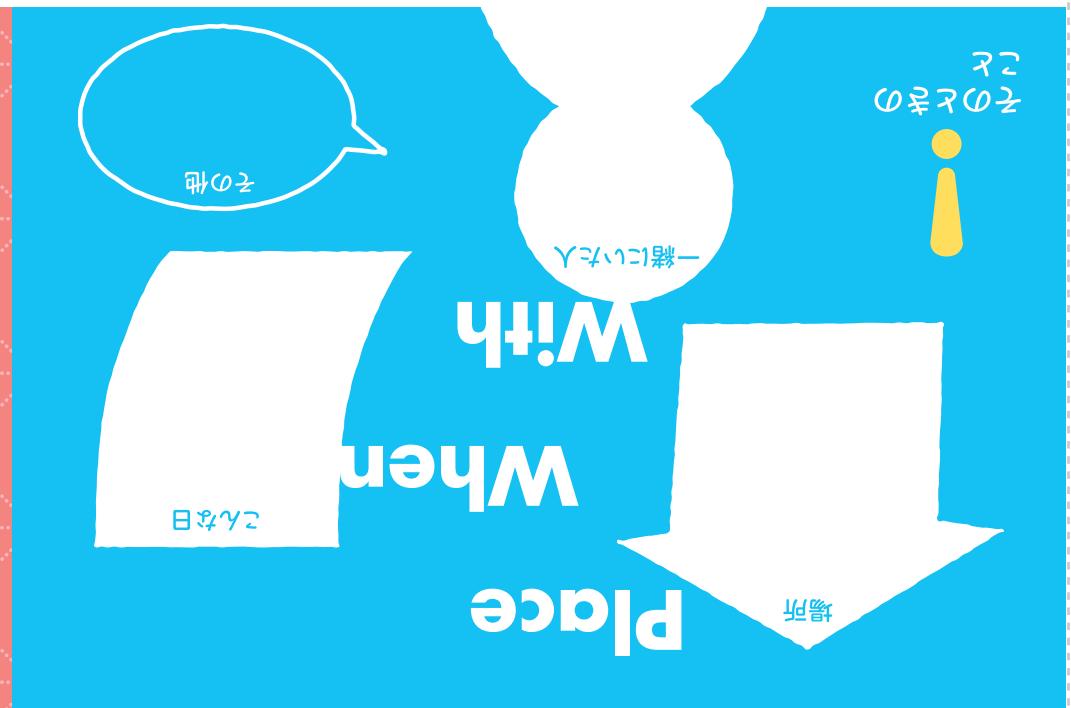
デザインボランティア: mill design studio 作成協力: 坂田さんちの農園、十勝ツトリアカステロ/電通

大切な人に感謝を伝える  
メッセージカード

Dear

いただきま  
すと  
ごちそうさま  
を  
ありがとう

From



# 食べる、生きる、明日を育む。

世界には十分な食べ物があるのに、今も10人に1人が“慢性的な栄養不足”=“飢餓”に苦しんでいます。

ハンガー・フリー・ワールド（HFW）は、飢餓に苦しむひとびとの「食べる」を取り巻く環境を変えていき、

「生きる」力を育むことで、世界の「明日」へとつなげていく国際協力NGOです。

食べ物を送るといった緊急支援も大切ですが、

HFWでは、住民たちが自分の力で食べ物を得られるしくみや地域づくりに取り組んでいます。

## 1. 地域をつくる

飢餓の背景には、農業の生産性が低い、教育を受けられないなどの「地域ごとの課題」があります。そのためHFWは、栄養改善、教育、保健衛生、収入創出、ジェンダー平等の推進、環境の6分野から、地域が必要とする支援を選び、住民とともに取り組みます。そして、住民たちが自分たちの力で課題を解決できるようになり、飢餓がなくなれば、支援は終了。また、その手法や成果が、周辺地域や国全体にも広がることをめざします。



「誰もが安心して  
食べられる世界」のために、  
4つの活動をしています。

## 2. しくみを変える

国際的な食料価格高騰による食品の値上がり、地球温暖化による不作などは、貧しいひとびとが食べ物を手にする機会を奪っています。このような、人間が作り出した「地球規模の課題」も、飢餓の原因のひとつです。これらの課題の解決に必要な政策や国際ルールが整備されるよう、HFWは、世界中のNGOなどと協力・連携し、国際会議や政府機関などへの提言活動を行っています。



## 3. 気づきをつくる

飢餓の要因のひとつでもある地球温暖化や食料廃棄の問題は、日本も無関係ではありません。HFWは、日本全国で私たちの暮らしや食生活と飢餓とのつながりを伝え、解決するために考え、行動を促すための活動を行っています。また海外の活動国では住民の自立が解決のカギ。住民たち自身が主役であることを伝え、自ら生活環境を変えていけるようサポートしています。

## 4. 若い力を育てる

若者ならではの力を、飢餓の解決に向けて發揮し、そして、未来の担い手として成長できるように。世界5カ国でHFWの青少年組織である「ユース・エンディング・ハンガー」(YEH)を支援しています。日本では全国各地で、学生が中心となってチャリティイベントや啓発活動を実施。海外の活動国では、その国の若者主体の地域開発や啓発活動を行っています。



特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13山商ビル8階  
TEL: 03-3261-4700 FAX: 03-3261-4701  
(平日 10:00-18:00)  
E-MAIL info@hungerfree.net  
URL https://www.hungerfree.net/



